

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回社会教育委員会議	
開 催 日 時	令和3年7月19日（月） 午後 2時00分から 午後 3時05分まで	
開 催 場 所	朝霞市役所別館5階 大会議室（奥）	
出 席 者	○委員15人（田邊委員、杉山委員、柳川委員、藤田委員、 蕪木委員、金子委員、蔵田委員、渡邊俊夫委員、 齋藤委員、渡邊聡委員、渡部委員、木村委員、小島委員、 野本委員、古川委員） ○説明のため出席した部課長及び事務局等4人 （神頭生涯学習部長、菊島生涯学習部次長兼課長、重田係 長、堀内主査）	
会 議 内 容	（1）議長、副議長の選出について （2）令和3年度生涯学習・社会教育関係事業予算について （3）第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2（2020） 年度事業評価（案）について （4）第3次朝霞市生涯学習計画（後期期間）の見直しについて （5）その他	
会 議 資 料	資料1 令和3年度 生涯学習・社会教育関係事業予算 資料1-1 令和3年度 教育委員会予算概要（歳出） 資料1-2 社会教育関係団体 令和3年度補助金交付一覧 資料2 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2（2020） 年度事業評価（案） 資料3 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2（2020） 年度事業評価 総括（案） 資料4 朝霞市の生涯学習施策の現状 資料5 社会教育委員法（抜粋） 資料6 朝霞市社会教育委員名簿 参考資料 第3次朝霞市生涯学習計画（平成29年度～平成38年 度における、後期期間の推進の方向性について その他 第3次朝霞市生涯学習計画 ダイジェスト版	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こ した場合の当該電磁的記録の保 存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 議長による内容確認	
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴人 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○開 会

司会：事務局 菊島生涯学習部次長

開会のあいさつ：神頭生涯学習部長

欠席確認・委員、事務局の紹介：事務局 菊島生涯学習部次長

会議の公開・傍聴人について：事務局 菊島生涯学習部次長

○議 事

（１）議長、副議長の選出について

（仮議長：事務局 菊島生涯学習部次長）

「朝霞市社会教育委員会議規則」の第２条に、議長及び副議長は、委員の互選で選出することと規定されています。

どなたか御推薦などありましたら伺いたいと思います。

（齋藤委員）

金子委員に議長をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

（金子委員了承。議長決定により仮議長と議長交代）

（金子議長）

副議長の選出について、どなたか御推薦などありましたら伺いたいと思います。

（藤田委員）

渡邊俊夫委員に副議長をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

（渡邊俊夫委員 了承）

（２）令和３年度生涯学習・社会教育関係事業予算について

（金子議長）

それでは議事の（２）令和３年度生涯学習・社会教育関係事業予算について、事務局から説明をお願いします。

（事務局 堀内主査）

資料１「令和３年度生涯学習・社会教育関係事業予算」について説明させていただきます。

資料１－１、令和３年度教育委員会予算概要（歳出）を御覧ください。

表の中ほどから下の左側の項の「０５ 社会教育費」とその下、項の「０６ 社会体育費」についてですが、社会教育費予算額は前年度比率１４１．１％の１２億

6,786万5,000円、社会体育費予算額は前年度比率47.4%の2億1,776万6,000円でございます。社会教育費全体では3億6,917万2,000円の大幅な増額となっております。

主な増額の理由といたしまして、目の「06 図書館費」が、6億5,835万8,000円となっており、前年より3億5,916万9,000円の増額となっております。

これは、今年度に図書館本館の大規模改修工事を行うため、工事費用が多額となり、前年比率220%と大幅な増額となるものでございます。

続いて、項の「06 社会体育費」について御説明いたします。

社会体育費は全体で2億4,133万5,000円と大幅な減額となっております。

主な減額の理由といたしまして、目の「02 総合体育館費」が、5,321万4,000円となっており、前年より2億3,195万3,000円の減額となっております。

これは前年度まで総合体育館改修にかかる工事を行っていましたが、工事が完了し、工事費用がかからなくなったため、前年比率18.7%の大幅な減額となるものでございます。

また、参考としまして、市の当初予算、教育費に占める社会教育費及び社会体育費の割合を下の表で示させていただいております。

それでは次のページを御覧ください。

2ページ目、資料1-2につきましては、社会教育団体への補助金交付予定一覧を付させていただきました。令和3年度の予算額と令和2年度の予算額、そしてそれぞれの比較を記載させていただいております。

なお、比較の増減のあった箇所が2箇所となりますが、その主な理由につきましては、下記※印に記載させていただきましたとおりとなりますので、参考にいただければと思います。

以上でございます。

(金子議長)

ただいまの説明について御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

(金子議長)

家庭教育学級がマイナスとなっている理由を教えてください。

(事務局 堀内主査)

近年の補助金交付団体の交付実績を鑑みまして、5万円の削減額となっております。交付している団体が年々少しずつ減っているため予算を減額しております。

(3) 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2(2020)年度事業評価(案)について

(金子議長)

続きまして、議事(3)第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2(2020)年度事業評価(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 重田係長)

それでは資料2「第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和2年度事業評価(案)」及び資料3「第3次朝霞市生涯学習計画 令和2年度事業評価 総括(案)」について御説明いたします。

はじめに資料2の概要について御説明いたします。

資料2は令和2年度に実施された生涯学習計画における各課の事業及び評価を掲載した資料となります。こちらの資料には、実施された136の事業に関して、各事業の目的、実施された事業の内容とその評価、指標の達成状況、今後の展開などが詳しく掲載されています。

評価につきましては、A「目標・計画を大幅に上回る成果があがっている」からEの「目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった」の5段階で判定していますが、昨年度の社会教育委員会議におきまして、委員の皆様より、コロナ禍で事業の実施が困難な状況の中、従来通りの考え方でA～Eの評価判定をすることは難しいのではないかと御意見を頂きました。そのため、今回は従来の「指標の目標計画に対するA～Eの判定」に加えて、達成度(事業の目標は達成したか)の欄を新たに設け、指標の実績による判定だけでなく、「事業そのものの目標」に対する達成状況を測る欄を新設いたしました。

例として御説明いたします。34ページ上段を御覧ください。事業名「男女平等推進事業」に関して、令和2年度の事業目標は「男女平等の推進に関する情報を広く市民に周知し、意識醸成を図る。また、市民に信頼のおける相談事業を継続して行う」となっております。指標は「あさか女と男セミナーの参加人数」となっていますが、令和2年度の実績は「新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止」となっております。しかしながら、判定では「C」の「目標・計画どおり成果があがっている」としてしております。達成度は「指標に表れない事項について目標を達成した」としており、説明欄を確認すると、セミナーは中止したものの、男女平等に係る各種人権課題に関するマニュアルカードの作成をするなど、新たな取組を行い、啓発活動が行われたことが分かります。

このように、評価についてはA～Eの判定のみならず、委員の皆様の御意見をもとに、各課が指標には表すことはできないが、コロナ禍において可能な限り取り組んだ内容について記述し、評価の一部とすることができました。貴重な御意見と御提案に感謝申し上げます。

続きまして、資料2をもとに作成しました資料3「総括評価(案)」について御説明いたします。

それでは、資料3の1ページをお開きください。1ページから2ページは実施事業の評価方法が記載されています。

1ページには事業の評価は年度ごとに行われ、達成度はA～Eの5段階評価で行われていること、原則的には、指標の数値を基に評価を行うが、必要に応じて

事業全体から判断することが説明されています。

2ページを御覧ください。総括評価の方法について記載されています。

事業ごとの達成度はA～Eで評価されており、それぞれ、1点から5点までの評価点数があること、また、主な取組の評価は事業ごとの達成度の平均点となり、小柱の評価は、さらに主な取組の評価の平均点としています。

評価書につきましては、これまでは、主な取組の評価と小柱評価が表記されていましたが、今回から、全ての事業とその評価及び点数を掲載し、主な取組の評価や小柱評価につながる、評価の過程を御覧いただけるように変更いたしました。

それでは、総括評価につきまして、令和2年度の特徴を御説明いたします。令和2年度の生涯学習計画実施事業数は136事業でございます。

評価につきましては、新型コロナウイルスの影響から、指標としている事業の実施ができなかった課が多く、D評価が目立ちました。全136事業中、D評価が51事業、E評価が2事業となり、D・E評価の合計は53事業、事業全体の約39%が「目標・計画を下回った」という結果となりました。

続きまして、大柱ごとの評価について御説明いたします。

資料の3ページをお開きください。

大柱、「新たな学びの“きっかけ”を提供します」の評価について、御説明いたします。

小柱、「生涯学習情報の充実」の評価はC、「相談体制の充実」はC、「生涯学習のきっかけづくり」はCです。

「生涯学習情報の充実」につきましては、各課とも、SNS（ホームページ、フェイスブック、ツイッター）を活用した情報提供を活発に行いました。引き続き、様々な媒体を使い積極的な情報発信に努めます。東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関するイベント等の回数が目標を大幅に超える実績となり、朝霞市が会場であることの認知度が90%になるなど、目標値をほぼ達成できています。

「相談体制の充実」につきましては、生涯学習に関する問合せや相談に対し、適切な情報提供や助言を行いました。また、利用者懇談会などを通じて、利用者のニーズの把握に努めました。

「生涯学習のきっかけづくり」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生涯学習を始めるためのきっかけ作りとなる講座の開催が難しい1年となりましたが、実施できた講座は、受講者にアンケートを行い、市民のニーズやライフスタイルの変化に対応した講座開催に努めました。

4ページを御覧ください。

大柱、「使いやすい学びの“場”を提供します」の評価について、御説明いたします。

小柱、「生涯学習推進拠点の充実」の評価はC、「学びの場を広げる」はDです。

「生涯学習推進拠点の充実」につきましては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館、図書館、博物館などの文化施設を始め、多くの施設が臨時休館となったことや、その後も利用制限を行った影響から、施設の管理・運営に関する評価では、半分以上の事業がD評価（目標・計画を下回り、

十分な成果があがらなかった)となりました。これは成果指標の多くを、「利用人数」や「利用率」としていることに起因しますが、こうした評価となった事業についても、その多くは、達成度では「指標に表れない事項について目標を達成した」としており、それぞれの取組内容が記載されました。新型コロナウイルスの影響が大変大きい1年でしたが、事業の目的の達成に向けて、様々な工夫や努力が重ねられました。

施設の管理事業については、計画的な建物の維持管理を図り、必要に応じて改修工事等を行いました。特に、総合体育館については、平成30年から進めていた改修工事が終了し、今後さらなる利用者の増加が見込まれることが期待されています。

「学びの場を広げる」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりには実施できない事業が多数ありました。しかしながら、オンラインを活用するなど事業の実施方法を工夫し、新たな学びの場を創設することができました。

5ページを御覧ください。

大柱、「多様な学びの“メニュー”を提供します」の評価について、御説明いたします。

小柱、「ともに生きる社会づくりに向けた学び」の評価はC、「健やかで心豊かな人生のための学び」はC、「ライフステージに応じた学び」はDです。

「ともに生きる社会づくりに向けた学び」につきましては、人を集めての各種講演会等、計画されていた多くの事業が中止となりましたが、平和パネル展の開催や、オンラインでの消費生活パネル展の開催、成人式における人権啓発活動など、感染防止対策を取りながら、工夫をして事業を実施しました。また、屋外の事業として、朝霞の森におけるプレーパークの開催は、目標計画どおり63回開催され9千910人の参加がありました。事業を通じて親同士の交流、親睦が図られました。

「健やかで心豊かな人生のための学び」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭や体育祭、ロードレース大会などを開催できませんでした。しかしながら、中学校図工美術展は、感染防止対策として、来場時間の学年別指定や入場制限等の感染症対策を講じた上で実施したところ、例年を上回る入場者数となり、多くの保護者に児童生徒の作品を鑑賞していただくことができました。

「ライフステージに応じた学び」につきましては、各種事業やセミナーの開催が中止となったり、開催回数を減らすこととなりましたが、児童館職員によるYouTube上での動画公開や自宅で取り組める工作キットの配布など、利用者に寄り添った事業が行われました。また、密を避けるため定員を減らしながら実施した放課後子ども教室は、例年を上回る参加率となるなど、来館者や参加者数は減少したものの、各種事業において工夫が凝らされ、今後にもつながる新しいサービスが展開されました。これからも、市民のニーズにあった、また市民や社会の状況に寄り添ったテーマや方法で、多様な学びを提供できるよう検討していきます。

7ページを御覧ください。

大柱、「市民の学びの“主体性”を支えます」の評価について御説明いたします。
小柱、「学習活動の評価」の評価はC、「人材・団体の育成」はCです。この主な取組の評価Dの下が空欄になっていますが、Cですので加筆をお願いします。

「学習活動の評価」につきましては、文化祭を始めとする各種の文化・芸術事業や、学校における吹奏楽・器楽フェスティバルなど多数の事業が中止となりました。しかしながら、個別団体ごとには活動が行われたり、学校においては、音楽を愛する心情や豊かな人間性を育むための音楽活動が行われ、可能な範囲で活動が継続されました。新型コロナウイルス感染症の終息までは、引き続き制限のある中での活動を余儀なくされますが、今後も様々な形で、日ごろの学習の成果を発表する機会を創出することで市民の学習意欲を高め、また、市民同士の交流の機会を作り、学びの循環が進んでいくように努めます。

「人材・団体の育成」につきましては、NPO法人活動支援として、オンラインに関する相談会を開催するなど、団体のニーズに対応した支援を実施しました。また、市民団体の学習事業の支援を行い、各種市民企画講座の開催を支援しました。さらに、企業等の協力を得て、「おとどけ講座」として様々な企業メニューを提供するなど、人材・団体の育成に努めました。

大柱、「市民とともに学びを“協働”で推進します」については、小柱「生涯学習推進体制の充実」の評価はCとなり、目標計画どおり成果を上げることができました。

「生涯学習推進体制の充実」につきましては、社会教員委員会議を始めとして、スポーツ推進審議会、文化財保護審議委員会議等、各種会議を通じて委員の皆さまから様々な御提案や御意見を頂き、生涯学習推進体制の充実を図ることができました。社会教育委員会議においては、令和5年以降の朝霞市成人式の対象年齢についての御意見や、コロナ禍における生涯学習計画の評価の視点や今後の指標のあり方など、様々な御意見を頂き、生涯学習を推進する上での方向性をお示しいただきました。今後も引き続き、各種会議等において御意見を頂きながら、さらなる生涯学習推進体制の充実を図っていきます。

以上です。

(金子議長)

ただいまの説明について御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

(金子議長)

評価の中でBとCが非常に多いですが、Aも4つあります。コロナの中で事業をやってきて中止がたくさんあり、人を集めなくてはいけない事業なのに集めてはいけないということで、とても大変だったと思いますが、皆さん社会教育を頑張っておられるというのが資料や評価の中から伺えます。

(渡邊副議長)

皆様の知恵を使う1年だったのかな。社会教育の雑誌を見ましたら、バーチャ

ルとライブといった違う手法をいろんな団体で試されていました。顔を見合わせて実施する場合の期待感やふくらみの大きさに比べて、Zoomでは広がり方が限定されていように感じます。社会教育では、場合によっては、雑談の中から広がる場所が大きいのではないかなと思いました。御苦勞様でした。

(事務局 重田係長)

ありがとうございます。子ども大学はZoomで行いました。「また参加したい」とお子さんはおっしゃってくださいますが、「対面でできたらいいな」というお声もたくさんありました。

(齋藤委員)

コロナ対応の中でかなり工夫されてきていることに敬服いたします。今日、シンボルロードを歩いてきましたら、市内の保育園の子どもたちが、一言書いた短冊を付けた朝顔の鉢が並んでいました。おそらくオリパラの歓迎の意味としてやっていたらいいと思います。選手が通ったら歓迎されていると感じると思います。そういうことを各部署で工夫してやられているのだと思います。

私が関わっている人権推進協議会でも、次期委員さんの研修的なものがなかなかできないということがありましたが、事務局の提案で工夫しているのが、研修の時期や人数を、安全安心を考え、都合のいい時に少人数で行けたら行く、という方法にやり方を変えていただいたのはありがたいなと思います。工夫すれば何かやれるものがあるんだな、それが今後の活動の中で日常化していくことになっていくのかなと思い、かえって勉強の機会を与えていただいたと思っています。

(4) 第3次朝霞市生涯学習計画(後期計画)の見直しについて

(金子議長)

続きまして、議事(4)第3次朝霞市生涯学習計画(後期期間)の見直しについて、事務局から説明をお願いします。

(事務局 堀内主査)

それでは議事(4)第3次朝霞市生涯学習計画(後期期間)の見直しについて御説明いたします。

本題に入ります前に、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、第3次朝霞市生涯学習計画の概要について御説明いたします。

本日机上に配布しました、「第3次朝霞市生涯学習計画ダイジェスト版」の3ページを御覧ください。

第3次朝霞市生涯学習計画は「一人一人が心豊かに ともに学び 生きるまちあさか」を基本理念として、平成29年度から計画期間を10年としてスタートしています。

次のページを御覧ください。

4ページにありますとおり、この基本理念を基に、朝霞市が生涯学習で目指す将来像として、

- ①いつでも、どこでも、誰でも学ぶことのできる生涯学習社会の実現
- ②人と人とをつなぐ生涯学習社会の実現（コミュニティの形成）
- ③知の循環型社会の実現（知の実行・継承）

を目標に掲げています。

続いて6ページ、7ページ目を御覧ください。

先に述べましたこの目標を達成するため、このページにありますとおり、基本計画として、

- ①新たな学びの“きっかけ”を提供します
- ②使いやすい学びの“場”を提供します
- ③多様な学びの“メニュー”を提供します
- ④市民の学びの“主体性”を支えます
- ⑤市民とともに学びを“協働”で推進します

を5つの柱として定め、生涯学習施策を関係各課で計画的に推進しているところです。

それでは、次に、本日お配りしました、A4横2枚カラーホチキス止めの「参考資料」を御覧ください。

こちらについては、以前令和2年度第2回社会教育委員会議で使用した資料となりますが、再度見直しの方向性を御確認いただきたいと存じます。

1ページ目の左下に記述されているとおり、第3次朝霞市生涯学習計画が平成29年度から今年度末で前期5年が経過し、計画期間の折り返し地点となります。そこで、今年度において、基本計画については、後期期間においてもこのまま引き継ぎ、前期期間の実施計画の成果や課題を確認し、改善をして、令和4年度から令和8年度までの後期5年間に於いて、基本理念の実現に向けたさらなる生涯学習の推進を図っていくということで委員の皆様からの御承認をいただいたところでございます。

今御説明した見直しのイメージを図で現しますと、PDCAサイクルの図で丸で囲んだ部分「CHECK」「計画の進捗状況の評価・検証」と「ACTION」「計画の改善」を行っていくということになります。

資料の2ページ目を御覧ください。

そこで今回、左側の図の赤丸をつけた部分を現在進めているところです。ここにありますが、平成29年度からこれまでの施策の現状及び進捗状況を確認するために、データの取りまとめを実施しました。その結果が「資料4 朝霞市の生涯学習施策の現状」でございませう。

それでは「資料4 朝霞市の生涯学習施策の現状」を御覧ください。

今回、このように平成29年度から現在までの、基本計画の5つの柱に基づき生涯学習施策を進めてきた各課の事業実績をまとめたものでございませう。

中身を御確認いただきますと、多くの事業につきまして、関係各課が生涯学習推進のため、明確な目標計画を立て、また、その目標計画値を年々高く引き上げながら、事業の実施について努力をしている様子が伺えます。

しかしながら、令和元年度から令和2年度にかけては、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標計画を達成できない事業も多く見受けられます。

そのようなことも踏まえたと、先ほどの議題(3)の事業評価の説明の中にもありましたが、事業の目的と内容に対する評価指標を、例えば「参加者数」や「事業実施回数」ではなく、「参加した方の満足度」などに変更するなど、各事業の指標の見直しを行っていく必要性を強く感じたところでございます。

また、改めて各課の事業を確認しますと、「5つの大柱」の基本計画の実施状況の評価する上で、評価指標が見合っていないのではないかという事業がいくつかございます。例をあげますと、6ページの下から2段目を御覧ください。以前、このことは会議の中で委員の皆様からも御指摘いただいたことがございますが、「広報あさか発行事業」の指標が「広報配布部数」であることなどはいかがでしょうか。広報配布部数は世帯数で決まっておりますので、指標とすることは少し難しいように思います。その下の「保健センターガイド発行事業」などはいかがでしょうか。また、8ページ目を御覧ください。一番下にあります「事業名 選挙の啓発」については、「事業の目的と内容」や「指標」ともに、生涯学習施策の推進と少し関連性が低いように感じております。

このように、関係各課の生涯学習施策の推進にかかる各課の事業について、再度、評価指標の見直しと、事業の目的と内容が基本計画の各柱に適合したものとなるよう、関連のない事業は整理し、また他に生涯学習推進に関連して実施している事業があるのでは?ということ各課と確認・調整を図り、次回11月の会議の際に、後期5年間に向けた施策体系別事業一覧をお示ししたいと考えております。

そこで、本日は委員の皆様からもこの資料をお読みいただいた中で、「この事業は生涯学習施策の推進に適する事業と言えるのか」「この指標は違うのではないのか」など疑問に感じられた部分がありましたら、御意見を頂戴したいと存じます。説明は以上です。

(金子議長)

ただいまの説明について御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

(金子議長)

選挙管理委員会や農業関係は社会教育の範疇ではないと感じたのですが。

(事務局 堀内主査)

42ページの「キャリアアップやスキルアップに関する学習の支援」で、「農業祭事業」を産業振興課にあげていただいておりますが、来場者数を生涯学習の推進をはかる指標とするのは、少し離れているかなと私も感じております。

(渡部委員)

教育基本法の元は憲法になるので、憲法の主旨は「民主的な社会・人間を作っていくこと」と考えると、生涯学習の前提としては民主的な社会ということになりますので、民主社会を支える「選挙」を生涯学習計画に入れ込むことに、私は

違和感は感じません。

(事務局 堀内主査)

御意見ありがとうございます。本日の資料につきましては、送付が会議開催の直前になってしまい、また、このようにボリュームのある資料となっておりますので、会議内では御意見等をお伺いしきれない部分があります。そこで、御多用のところ大変恐縮ですが、もう一度資料を御確認いただき、もし何か御意見等がありましたら、電話やメール等で頂戴したいと存じます。

(事務局 重田係長)

今回見直しのためにデータを取りまとめながら、別の柱に移動した方が一層適する事業、また、それぞれの課が所管する事業の中には、もっと生涯学習に適する事業があるのではないかと考察したところです。今後見直しにあたっては、そういったところを整理し、委員の皆様から御意見を頂戴しながら、令和4年度以降の生涯学習の推進をさらに充実した形で図れるように進めて参りたいと存じます。

(金子議長)

学校関係で何かございますか。

(田邊委員)

小学校の中でも皆を集めるということはしておらず、明日終業式がありますが、クラスをZoomで繋いで校長先生が話すなど、クラス単位の30人程度が限界で、職員会議も職員室ではなく広いところで行っています。社会教育までなかなか頭が回らないところですが、コロナが終息した際には何かお力になれることがあるのではないかと思います。

(杉山委員)

中学校でも、人を集めて何かをするというのが難しいところで、人を集めないでもできる方策を探っている状況です。社会教育が通用するような部分があるのかどうか、新しいことを考えていく時代なのかなと思っています。

(柳川委員)

高校としては、朝霞市の事業に部活動等で御協力したいと思っておりますが、コロナの関係でできないという状況が続いています。

(古川委員)

東洋大学としては、子ども大学あさかで協力させていただいていますが、難しい状況になっているので、リモートなどを混ぜながら暫くはやるようなのかなと思います。

(金子議長)

事務局から何かございますか。

(事務局 堀内主査)

他に何か御意見等がございましたら、8月末までに頂けましたらありがたく存じます。

(5) その他

(金子議長)

続きまして、議事(5)その他について、事務局から何かございますか。

(事務局 菊島生涯学習部次長)

本日は、委員の皆様からたくさんの御意見等頂きありがとうございました。

今年度の社会教育委員会議でございますが、本日を終えて、あと2回の開催を予定しております。

次回、第2回目は11月、第3回目は2月頃を予定しております。

開催通知につきましては、開催1か月以上前までには御通知する予定でございます。日程は決まり次第お知らせいたします。

本日は、委嘱式から続いて長時間にわたり、御審議をいただきまして、ありがとうございました。本日いただきました御意見等につきましては、今後の事業の実施に生かすよう検討いたします。

(金子議長)

本日の議題は以上です。本日は御協力ありがとうございました。

(事務局 菊島生涯学習部次長)

これにて終了させていただきます。

○閉 会